

# 議会のトピラ

## TOPICS

新たな議会構成決まる

平成30年度決算を審査

常任委員会の報告

ここが聞きたい 9人が一般質問

## 新しい議会で 決算を審査



# 新たな議会構成決まる

7月21日執行の市議会議員選挙により議員が決まりました。任期は令和元年8月11日から令和5年8月10日です。

8月14日に開催した第3回臨時会で、正副議長や常任委員会委員など新たな議会構成が決まりました。

議長

伊藤 久寿

(大森)

当選回数3回



「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくり」を指し全力で努力します。

副議長

天羽 良明

(下切)

当選回数4回



子ども達の通学路の安全確保とスポーツ環境の充実をすすめます。

## 議長・副議長 就任のあいさつ

「開かれた議会を目指して」

可児市議会は、議会基本条例を制定し、市民福祉の向上及び地域社会の活力ある発展を目指し活動しております。

さらに、市民参加の推進、情報公開を進め、開かれた議会を目指し努力してまいります。

そして、議会の役割であります監視・評価を行い、議会報告会や地域課題懇談会などで市民の皆さまの意見をお聞きし、政策形成につなげるよう取り組んでまいります。

板津 博之

(羽生ケ丘)

当選回数3回



「誰もが安気に暮らせるまち・可児」実現のため議員活動に邁進します。

伊藤 健二

(土田)

当選回数6回



増税反対、暮らしと福祉を守ります。リニア地上走行から美濃焼の聖地を守れ。

大平 伸二

(今渡)

当選回数2回



市全体を自分の家、市民皆を家族と思い議員活動に従事していきます。

奥村 新五

(韋ケ丘)

当選回数1回



今までの人生で得た経験を生かし、市民目線で得意な分野で活動します。

勝野 正規

(矢戸)

当選回数3回



「市民の声にまっすぐ」をモットーとし、市民福祉向上のため議員活動を行います。

亀谷 光

(若葉色)

当選回数9回



8期28年の経験を礎に可児市の夢ある未来のため徹底的に全力投球!!

川合 敏己

(下恵土)

当選回数4回



「安心して暮らせるまちづくり」初心を忘れず一生懸命取り組んでまいります。

川上 文浩

(広見)

当選回数4回



行政の監視と評価を的確に行い、市民福祉の向上を目指し活動します。

**(緑)**  
富田 牧子  
当選回数 8回



いつまでも住み続けられる地域づくりを尽くしてまいります。

**(韋ケ丘)**  
田原 理香  
当選回数 2回




人と人との繋がりの中で「真に安心して暮らせる地域づくり」を目指します。

**(土田)**  
澤野 伸  
当選回数 4回




3期12年の経験をしつかり生かして、「丁寧に謙虚に」を忘れず取り組みます。

**(鳩吹台)**  
酒井 正司  
当選回数 4回




岐阜医療科学大学と連携し、全世代の健康と地域活性化に取り組みます。

**(羽崎)**  
林 則夫  
当選回数 12回




住みごころ一番を目指し議会一丸で大河を躍進。光秀公で街おこし。

**(下恵土)**  
野呂 和久  
当選回数 4回



将来の可児市の姿を見据えながら市民の声に耳を傾け市政に届けていきます。

**(下恵土)**  
中村 悟  
当選回数 6回



モットーは「元気はつらつ」「地道な活動」「スポーツの振興」

**(愛岐ケ丘)**  
中野 喜一  
当選回数 1回



行政と市民の橋渡し役として、必要事項をわかり易く伝えていきます。


**(韋ケ丘)**  
渡辺 仁美  
当選回数 2回



市民の声を聴き、働く者・子ども・障がい者・高齢者へのさらなる支援を続けます。

(五十音順で掲載)

**(若葉台)**  
山根 一男  
当選回数 6回




多くの皆さまからいただいた「市民の声」を礎に、「市民第一主義」を貫いて働きます。

**(長坂)**  
山田 喜弘  
当選回数 4回



皆さまの小さな声を市政に届け、人にやさしいまちづくりを推進します。

**(川合)**  
松尾 和樹  
当選回数 1回



一人の百歩より百人の一步。皆さまとの和を大切にして可児の未来を創ります。

## 第3回臨時会 提出された議案と審議結果

予算、人事、契約各1件ずつを審議し、原案どおり同意、可決しました。

番号	件名	結果
議案	41 令和元年度一般会計補正予算（第2号）	◎
	42 監査委員の選任 ※	◎
	43 請負契約の締結	◎

【結果の表示記号】◎全会一致で同意・可決

※監査委員の選任  
議員選出の監査委員として、川合敏己議員を選出することに同意しました。



# 委員会構成

## 総務企画委員会

市長公室、企画部、総務部、観光経済部等の所管する事項を審査します。

- 委員長 大平伸二  
副委員長 勝野正規  
委員 林則夫

- 山根一男  
天羽良明  
山田喜弘  
板津博之

## 教育福祉委員会

福祉部、こども健康部、教育委員会の所管する事項を審査します。

- 委員長 田原理香  
副委員長 川合敏己  
委員 亀谷光

- 富田牧子  
野呂和久  
中野喜一  
松尾和樹

## 建設市民委員会

文化スポーツ部、市民部、建設部、水道部の所管する事項を審査します。

- 委員長 澤野伸  
副委員長 中村悟  
委員 伊藤健二

- 酒井正司  
川上文浩  
伊藤仁壽  
渡辺美  
奥村新五

## 予算決算委員会

予算と決算について審査します。

- 委員長 板津博之  
副委員長 野呂和久  
議長と監査委員を除くすべての議員で構成されます。



## 議会運営委員会

議会を円滑に運営するための委員会です。

- 委員長 伊藤健二  
副委員長 野呂和久  
委員 亀谷光

- 山根一男  
川上文浩  
澤野伸之  
板津博之  
勝野正規  
大平伸二  
田原理香

## 広報広聴協議会を新設

議会の活動を広く知ってもらうための広報活動や、市民の声を大きくお聞きする広聴活動を議会の大切な役割ととらえ、その充実に努めていくために、議長を除く全議員が所属する「広報広聴協議会」を設置しました。議員は「広報部会」と「広聴部会」のいずれかに所属し、議会全体で広報広聴活動に取り組んでいきます。

## 広報部会長

山根 一男



議会だよりを核として、ホームページやコミュニケーション放送を用いた議会広報等、これまで議会広報特別委員会が担ってきた役割に加えて、他の議会からの視察の受け入れ対応も担当します。広聴部会と連携し、これまで以上に議会が広く市民に親しまれ、市民福祉の向上につながるよう全力で取り組んでいきます。

## 広聴部会長

川上 文浩



広聴部会では、議会基本条例に定める「市民参加及び市民との連携」を今まで以上に強化するため、議会報告会及び地域課題懇談会などを企画・実施し、それぞれの事業に対する確かな評価を行っています。議会が持つ政策サイクルを駆使し常に事業の見直しを行うことにより議会機能の充実を図ります。

# 第4回定例会

## 提出された議案と審議結果



令和元年（2019年）第4回定例会を8月21日から9月30日までの41日間の会期で開き、平成30年度の決算や令和元年度の補正予算など47件を審議し、すべて原案どおり認定、同意、可決しました。

番号	件名	結果	番号	件名	結果
認定	1 平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	53 保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正	◎	
	2 平成30年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	54 印鑑条例の一部改正	◎	
	3 平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	55 市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正	◎	
	4 平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	56 公共下水道等処理区域外流入分担金徴収条例の一部改正	◎	
	5 平成30年度自家用工業用水道事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	57 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	◎	
	6 平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	58 土田財産区管理委員の選任	◎	
	7 平成30年度可児駅東土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	59 平牧財産区管理委員の選任	◎	
	8 平成30年度土田財産区特別会計歳入歳出決算認定	◎	60 大森財産区管理委員の選任	◎	
	9 平成30年度北郷財産区特別会計歳入歳出決算認定	◎	61 二野財産区管理委員の選任	◎	
	10 平成30年度平牧財産区特別会計歳入歳出決算認定	◎	62 固定資産評価審査委員会委員の選任	◎	
	11 平成30年度二野財産区特別会計歳入歳出決算認定	◎	63 教育委員会委員の任命	◎	
	12 平成30年度大森財産区特別会計歳入歳出決算認定	◎	64 人権擁護委員候補者の推薦	◎	
	13 平成30年度水道事業会計決算認定	◎	65 字区域等の変更	◎	
	14 平成30年度下水道事業会計決算認定	◎	66 中濃地域農業共済事務組合規約の変更	◎	
議案	44 令和元年度一般会計補正予算(第3号)	○	67 中濃地域農業共済事務組合の解散に関する協議	◎	
	45 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	◎	68 中濃地域農業共済事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議	◎	
	46 令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	◎	69 市道路線の廃止	◎	
	47 令和元年度下水道事業会計補正予算(第1号)	◎	70 市道路線の認定	◎	
	48 会計年度任用職員の給与、勤務条件等に関する条例の制定	◎	71 平成30年度可児市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	◎	
	49 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	◎	72 平成30年度可児市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	◎	
	50 職員の給与支給に関する条例及び職員の旅費に関する条例の一部改正	◎	73 手数料徴収条例の一部改正	◎	
	51 税条例の一部改正	◎	74 請負契約の締結	◎	
	52 幼稚園の設置等に関する条例の一部改正	◎	75 請負契約の締結	◎	
			76 請負契約の締結	◎	

【結果の表示記号】  
◎全会一致で認定・同意・可決 ○賛成多数で認定・可決

議案の詳しい内容については、議会ホームページで確認いただくか、議会事務局窓口で閲覧することができます。

### 第4回定例会の賛否一覧 ※これ以外の案件等は、全会一致で認定・同意・可決しています。

	奥村	松尾	中野	田原	大平	渡辺	伊藤	勝野	板津	澤野	山田	川合	川上	天羽	酒井	野呂	山根	中村	伊藤	富田	亀谷	林	
	新五	和樹	喜一	理香	伸二	仁美	正規	博之	喜弘	敏己	文浩	良明	正司	和久	一男	健二	牧子	光	則夫				
認定第1号 平成30年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
認定第3号 平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
認定第4号 平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議案第44号 令和元年度一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

※○は賛成 ●は反対 ※議長（伊藤壽）は採決に加わらない。

# 平成 30 年度決算を認定

## ～税金の使い道を厳しくチェック～

### 一般会計の歳出総額 298億262万7080円

市長は、監査委員が審査した前年度の決算について、監査委員の意見書を付けて議会へ提出し、議会の審査、認定を受けなければなりません。

可児市議会では、予算決算委員会での担当部課長からの説明や質疑を経て、平成30年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算を審査し、下記の表のとおり認定しました。

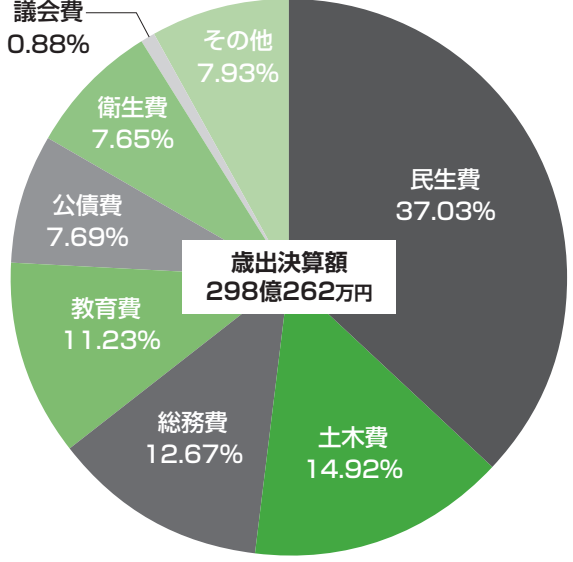
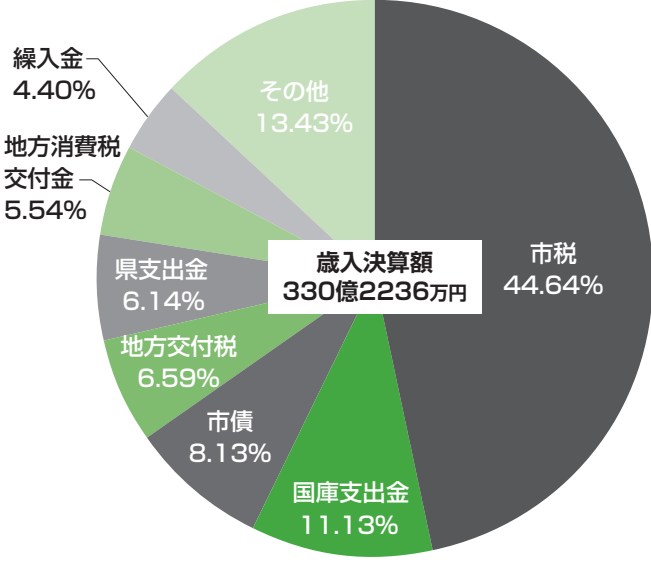
一般会計について、前年度と比較すると、収入で9億5253万9088円（2.8%）の減少、支出では29億7802万4834円（9.1%）の減少となりました。

審査の内容については8、9ページをご覧ください。

		収入	支出
<b>一般会計</b>		330億2236万6645円	298億 262万7080円
特別会計	国民健康保険事業	108億 852万9722円	104億2934万6331円
	後期高齢者医療	11億7030万 490円	11億4048万1327円
	介護保険	70億 603万1515円	68億7193万8530円
	自家用工業用水道事業	1億9985万3057円	1億5646万4570円
	農業集落排水事業	1億9685万9500円	1億6965万1425円
	可児駅東土地区画整理事業	1億2129万8438円	1億1846万6556円
	各財産区合計	2943万8567円	1437万3617円
<b>総計</b>		525億5467万7934円	487億 334万9436円

企業会計	水道事業	収益的収支	27億 769万3294円	22億 623万5684円
		資本的収支	9798万5311円	7億2470万3838円
	下水道事業	収益的収支	30億9957万 805円	25億4346万6777円
		資本的収支	8億7795万3664円	21億7077万1276円

### 一般会計歳入歳出決算額内訳



# みなさんが納めた税金の使い道の一部です。

\* 1万円未満切り捨て

## 民生費

110億3585万円

自立支援等給付事業	14億7054万円
福祉医療助成事業	10億1551万円
後期高齢者医療事業	9億2628万円
キッズクラブ運営事業	2億4658万円



今渡南小キッズクラブ 新築

## 土木費

44億4789万円

市道56号線改良事業	5億8281万円
道路維持事業	2億9449万円
可児駅東土地区画整理関連事業	1億7035万円
河川改良事業	1億3285万円



市道56号線 (二野大森線)

## 総務費

37億7690万円

公共交通運営事業	1億7280万円
支え愛地域づくり事業	1億1577万円
多文化共生事業	5212万円
かに暮らし情報発信事業	3238万円



外国籍の子どもの入学前準備教室「ひよこ教室」

## 教育費

33億4801万円

文化芸術振興事業	4億6846万円
スクールサポート事業	1億99万円
外国語・コミュニケーション教育推進事業	3213万円
美濃金山城跡等整備事業	1616万円



美濃金山城跡 発掘調査

## 衛生費

22億8001万円

成人各種健康診査事業	1億2556万円
母子健康診査事業	1億251万円
地域医療支援事業	6530万円
健康づくり拠点運営事業	1679万円



マール健康スタジオ 教室風景

## 消防費

11億7405万円

非常備消防一般経費	7272万円
消防施設整備事業	3887万円
災害対策経費	1613万円
地域防災力向上事業	1247万円



帷子西部消防車庫 改修

## 商工費

6億539万円

企業誘致対策経費	2億5627万円
商工振興対策経費	1億4236万円
観光施設管理経費	2147万円
観光交流推進事業	1720万円



観光交流館 甲冑着付け体験

## 農林水産業費

5億6521万円

土地改良施設維持管理適正化事業	4190万円
県単土地改良事業	2780万円
市単土地改良事業	2523万円
可児川防災等ため池組合経費	2039万円



田の洞ため池改修工事

※市が重点事業と位置づけている事業の中から、決算額の多い事業等を挙げています。



# 常任委員会報告

## 第4回定例会の議案審査等の概要です。

### 予算決算委員会

予算決算委員会では、所管課からの説明と議員選出の監査委員からの報告を受けた後に、平成30年度歳入歳出決算認定14件、令和元年度補正予算4件と、平成30年度水道事業及び下水道事業の未処分利益剰余金の処分について審査を行いました。

#### 平成30年度一般会計



**Q** 行政防災無線による火災放送が平成31年3月末で廃止となった。再検討の予定はないか。

**A** 防災情報伝達の複線化・多様化は継続的課題と認識し、新たな手法、先進事例の収集を積極的にを行い、必要と判断すれば予算の範囲内で積極的に導入したい。すぐメールかへの登録や

F Mから聴取の啓発を継続することとし、火災放送について再検討の予定はない。

**Q** 可児とこのう病院への医療機器整備助成金の効果と医療体制についての今後の見通しは。

**A** 購入した機器は有効に活用されていると判断している。今後も、医師確保を含め、検診や救急医療受け入れの充実、地域との連携、医療人材の育成等、多面的に地域医療を支えるという基幹病院としての役割を果たしているかを総合的に判断して交付を決定していく。



**反対** 岐阜医療科学大学開設支援について、18億円の補助金を支出することになっていたが、薬学部の開設が延期となり、令和元年度に繰り越しとなった。同大学への補助額は名城大学と

同程度の9億円から10億円が妥当と考える。  
電源立地地域対策交付金は、超深地層研究所分が含まれる。東濃の超深地層が核のごみ捨て場となる可能性はゼロではなく交付金はもらうべきではない。  
下水道整備に伴う特別措置法によるグラドルルの代替業務は276件、3億7826万円が随意契約で出されている。早期に廃止し一般競争入札の契約とすべきである。  
ふるさと納税について、累進課税という税の原則に反し、また一部の業種だけが返礼品として利用される不公平な制度であり根本的な見直しが必要と考える。これらのことから反対。

**賛成** 市税全体の収納率は97.33ポイント増加し、県下で上位に位置している。  
歳出では、予算に対する執行率が88.3%と、平成29年度より低い。その要因は岐阜医療科学大学への補助金が繰越明許

とされたことによると理解している。不用額(\*)は、平成29年度に比べ減少している。  
「住みごっこ一番・可児」実現に向け、4つの重点方針のもと各事業が着実に実施されていると判断できるので賛成。  
\*不用額とは……予算に計上されたが費用が抑えられた等の理由により支出されなかった金額。

#### 後期高齢者医療特別会計



**反対** 平成30年度は保険料の限度額が引き上げられ、また平成29年度より保険料軽減措置が縮小されている。高齢者への負担がますます増しているため反対。

**賛成** 被保険者が毎年増加するなどの財政負担は増え続けているが、財源的には医療費の9割を現役世代の支援金と公費で負担し、高齢者医療を社会全体で支える制度である。被保険者証の発行等の事務も広域連合と連携して



適正に運営されており賛成。

### 介護保険特別会計

#### ◆◆◆ 討論 ◆◆◆

#### 反対

平成30年度からの第7期介護保険料は、平均月額が5500円で月額3000円、年額で3600円の値上げとなった。平成30年8月から現役並み所得者の利用者負担割合が2割から3割となり、10月から訪問介護の生活援助サービスの利用制限も行われている。使えるサービスが削減され、負担ばかりが重くなる現行の介護保険制度には反対。

#### 賛成

平成30年度の介護保険給付費は約61億円で、平成29年度比で約3億600万円、5.3%の増加となっている。これは第7期介護保険事業計画の推計値に対し96.1%の執行率であり、適正な規模で運営されている。保険料の収納率は平成29年度比で0.2ポイント増の98.39%であり収納努力が見られるなど安定的な財政運営が図

られていることから賛成。

### 令和元年度一般会計補正予算

#### ◆◆◆ 討論 ◆◆◆

#### 反対

幼児教育・保育無償化について、その財源は消費税増税分で、子育て世代の生活を直撃する。認可外施設も無償化の対象で、保育の安全や質が確保されるか懸念される。令和2年度から公立保育施設等の無償化分の財源が全額市負担となり、今後民間委託されないか不安である。さらに、給食費が有料になることにより、従前の保育料より給食費が高い世帯が出ることに對して対策もない。これらことから反対。

#### 賛成

補正予算の大きな部分を占める幼児教育・保育無償化の関連予算や、消費税増税にもなう負担軽減としての未婚の児童扶養手当受給者への臨時給付金など、必要な経費が積算され適切な準備がされており賛成。

## ◆◆令和2年度予算編成への提言◆◆

可見市議会として、平成30年度決算審査の結果をふまえ、令和2年度の予算編成に生かすため、市長へ以下の6つの提言をしました。

### 1. 地域防災力向上事業について

市民や地域の自主防災活動をより一層後押しするため、地域防災力向上に資する事業の予算枠を十分に確保するとともに、弾力的な運用を図ること。

### 2. 公共施設整備基金について

公共施設等マネジメント基本計画をもとに、より具体的な実行計画をつくり、基金の積立や事業への充当など、その運用方針を定め財政運営を行うこと。

### 3. 空き家等対策推進事業の拡充について

有効な空き家対策につながるよう補助メニューの拡充や、新たな事業展開を進めること。

### 4. 外国籍市民増加への対応について

外国籍市民の増加と多国籍化が急激に進んでいる。今後もこの傾向が続くことが見込まれることから、地区センター等の窓口対応の充実や学校の適正な運営に十分配慮した人員配置や予算措置などを行うこと。

### 5. 地域医療支援事業について

可見とうの病院は、本市の基幹病院として位置づけられている。医療機器整備助成事業補助金のあり方について、機器整備に関わらず医師の確保につながるための有効な支援ができるよう適切な対応を講じること。

### 6. 小中学校のICT整備について

全国的に学校のICT化が進められている。本市においても遅れることなく、まずは大型モニターの設置や小型端末（タブレット）の購入、また情報通信ネットワークの構築を行い、その後も計画的な推進を適切に図ること。

## 総務企画委員会

### 会計年度任用職員制度の創設

会計年度任用職員の給与、勤務条件等に関する条例の制定について審査しました。

国の法改正に伴い、これまでの一般職非常勤職員を会計年度任用職員に統一します。

**Q** 財政面での影響は発生するか。

**A** 現在をベースとして報酬を決定するため、ほとんど影響はないと考える。

**Q** 任用期間はどうか。

**A** 任用期間は1年以内で、再度の任用は2回で通算3年となる。以降の再応募は可能である。

### 旧氏での印鑑登録が可能に

印鑑条例の一部改正について審査しました。

令和元年11月5日から、住民票と印鑑登録証に旧氏を併記で

きるようになり、旧氏での印鑑登録が可能となります。

**Q** 証明の交付申請書に旧氏に関する項目が追加されるのか。

**A** 申請書に変更はない。旧氏の併記を申し出る書類で申請し併記が認められる。

### 農業共済組合の1県1組合化に向けて

中濃地域農業共済事務組合規約の変更について等を審査しました。

県下全域を対象とした農業共済組合を設立するため、中濃地域農業共済事務組合を解散します。

**Q** どんなメリットがあるか。

**A** 現在支出している事務負担金がなくなる。また共済金の支払いなど事務手続きが早くなる。

### 下恵土の一部で字の名称等を変更

字の区域等の変更について審査しました。

可児駅東土地区画整理事業に

より、下恵土の一部地域で字の区域及び名称が変更されます。

**Q** 施行予定が令和3年7月となっているが、今後の手続き等に2年必要ということか。

**A** 現在作成中の換地計画書に県の認可を受ける等、換地処分などには、権利者、法務局、県などの事前調整を含め2年程度必要である。



字区域の変更区域図

## 建設市民委員会

### 自転車に関する道路構造令の改正

市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正について審査しました。

**Q** この改正により道路改修、新設をしていくのか。

**A** 改正の基準に交通量が多いこととの定めがある。本市には交通量において該当する路線がないので、今すぐ自転車通行帯の設置は考えていない。

## 教育福祉委員会

### 幼児教育・保育の無償化実施

幼稚園の設置等に関する条例及び、保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について審査しました。

**Q** 幼稚園での預かり保育で、有償、無償を分ける基準は何か。

**A** 就労等による保育の必要性が認められた方は無償となる。

**Q** 長期休暇には、預かり保育の無償の月額上限を超える可能性があるのでないか。

**A** 3歳以上は月額1万1300円、満3歳児で住民税非課税世帯の方は1万6300円の上限となっており、それを超えた分は自己負担が発生する。

# 一般質問

## 9人が市政を問う

市の方針や市民の皆さんの生活に関わる大切な内容について議員が市に対して質問を行いました。

一般質問の紙面は、質問議員が作成しています。ご不明な点は議員にお尋ねください。



下記二次元コードを読み取っていただくと議場での様子を映像にてご覧いただけます。



### 小学校授業時数増加に どう対応

**Q** 来年度から小学3・4年で外国語活動、5・6年で外国語が始まり、授業時数が増えるが、どう対応するのか。

**A** 来年度からの外国語活動、外国語の授業で年間35時間増加し、1週間の時間割で授業が1コマ増える。学習指導要領で定められた授業時数を不足することのないように、各学校の裁量で行事などにかかる時間を調整しながら対応していく。

### 少人数学級拡大の予定は

**Q** 岐阜県では小学校1・2・3年生と中学校1年生の4学年が少人数学級（35人以下学級）となっているが、少人数学級を他学年へ拡大する予定は。

**A** 国や県の計画は聞いてい

ない。県では、教員一人当たりの授業時数の減少や専門的な指導をしていくため、小学校における理科や英語の専科指導を導入しつつある。本市には、英語専科を4校に、理科専科を1校に配置してもらっている。一部の学校への配置であるが、担任の担当する授業時数が減ることで、成果が表れている。



とみだ まきこ  
富田 牧子



平成30年度版 可児市の教育



## 消費税増税対応施策の周知は



さわの しん  
澤野 伸

**Q** 消費税増税対策の施策の周知を本市はどのように行う予定か。

**A** プレミアム付商品券については、「広報かに」や市のホームページでの周知、金融機関にチラシ設置やポスター掲示の協力を依頼。庁舎1階に専用窓口を設置し問い合わせに対応。対象となる住民税非課税者と3歳未満の子を持つ世帯主には、10月から商品券が購入できるよう準備を行っている。

### 一般廃棄物処理基本計画の進捗は

**Q** 災害時におけるごみを適正に処理できる体制の確保に向け、どう見直されたか。

**A** 災害廃棄物の発生量想定のほか、収集運搬体制、12品

目に分別する仮置き場の選定・運営、概ね3年以内の処理を目指す計画づくりなどがある。しかしながら、見直し作業の中で、現在のささゆりクリーンパークの運転状況では3年以内の処理が難しいということがわかった。可茂衛生施設利用組合とともに検討を行う。その結果により可児市災害廃棄物処理計画を改訂する予定。



キャッシュレス・ポイント還元事業の広報  
(経済産業省ウェブサイトより)

## 受動喫煙対策の強化を



やまだ よしひろ  
山田 喜弘

**Q** 改正健康増進法の一部施行により、令和元年7月1日より、学校、病院等第一種施設は原則敷地内禁煙が施行された。本市の取り組み状況は。

**A** 市が管理する公共施設は、屋内完全禁煙を実施している。消防団車庫については、速やかに屋内禁煙にする。マリーノ等は敷地内完全禁煙で、本庁舎等は特定喫煙場所を設置している。

**Q** 小中学校に特定屋外喫煙場所がある。児童・生徒のいる学校を今後どうしていくのか。

**A** 法の範囲内で最低限設置している。今後も法に基づき、しっかり基準を守ることを学校長に求め、確認していく。

### マイ・タイムラインの取り組みを

**Q** 地域防災力向上に向け、マイ・タイムラインの普及啓発に取り組んではどうか。

**A** わが家のハザードマップは、マイ・タイムラインの要素を十分に盛り込んでいる。本市では、わが家のハザードマップの作成や更新、さらにブラッシュアップを引き続き推進していくことで、マイ・タイムラインの普及啓発につながるものと考えている。



本庁舎にある屋外喫煙場所

## 投票率向上に向けた 取り組みは

**Q** 参院選及び市議選において選挙管理委員会が取り組んだ選挙啓発とこれまでの取り組みは。

**A** 従来行ってきた広報活動に加え「明るい選挙推進協議会」と協力し、市内大型スーパー等で街頭啓発を行った。18歳の有権者に対しては、市内高校へ投票方法や期日前投票所の場所等を掲載したチラシを配付した。平時には、市内高校での模擬選挙や出前講座、小中学校への主権者教育のサポートを実施している。

### 主権者教育の取り組みは

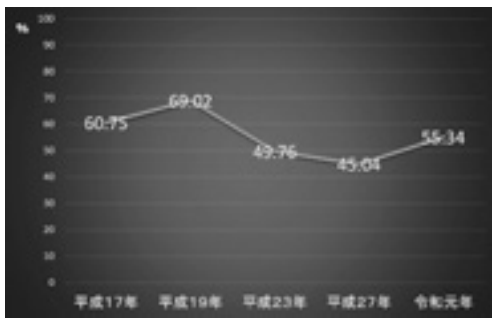
**Q** 小中学校での主権者教育の取り組みは。

**A** 小中学校では、学習指導要領に基づき児童・生徒の発達段階を踏まえて主権者教



板津 ひろゆき

育の指導を行っている。中学3年生では、社会科の授業で投票率の低さに焦点を当てながら、選挙に参加することの重要性について考察したり模擬選挙を行うなど、選挙の意義や重要性について理解を深め、主体的に政治に参加することの大切さを学んでいる。教育委員会としては今後も計画的に主権者教育を行っていく。



可児市議会議員選挙投票率の推移

## 子どもの貧困関連法改正 を受けて

**Q** 今夏実施された子どものいる世帯への生活状況実態調査の結果を、第2期子ども子育て支援事業計画に反映する考えはあるか。

**A** 調査の分析結果や計画の策定スケジュールとの調整により、可能な範囲で反映できればと考える。

**Q** 本年6月に、子どもの貧困対策推進法が改正された。その改正のポイントの一つである、子の将来に渡って連鎖する「将来の貧困」のみならず「現在」の状況の改善に向けて、具体的に何が必要と考えられるか。

**A** 困難を抱えた子どもや家庭が、地域での交流の場や児童館等相談できる場所へ出てもらえらるような環境づくりが必要と考える。



渡辺 ひとみ

### 市民力・地域力での居場所づくり

**Q** 市民グループや地域の方々の力により、子ども食堂や学習支援など子どもの居場所づくりの活動がある場合、行政としてどのように支援するか。

**A** 市民による支援の場を設けていただいている。平成29年度からこどもすこやかな育ち応援活動助成金を設け、要件を満たした活動に対して助成をしている。



お手伝いも子ども食堂の魅力のひとつ

## 地域医療を守るには

**Q** 可児とうのう病院をはじめとする地域医療の充実は喫緊の課題である。医師不足の中、本市の地域医療の現実にはきわめて厳しいものがある。どのように市民要望に添えていくのか。

**A** 基幹病院と位置づけている可児とうのう病院に対して、市は毎年医療機器の購入に對し5千万円の補助金を出しており、これは医療向上に有効にはたらいっている。全国的な医師偏在や、働き方改革による影響から、可児とうのう病院を含め、地域医療体制の充実には、一自治体で解決できない。今後とも、県と協力し安定した地域医療のために努めていきたい。

### 屋外広告物のルールは



やまね かずお  
山根 一男

**Q** 本市における屋外広告物の実態はどうか。また目に余るような広告、明らかに登録されていないような広告に対する手立てはあるか。

**A** 市内の屋外広告物の総数は約2700件あり、平成30年度の手数料収入額は668万円であった。汚損や破損の著しい広告物や、未許可の屋外広告物を発見された場合には、都市計画課まで連絡いただきたい。



市の基幹病院 可児とうのう病院

## 支え合う地域づくりの展望は

**Q** 第2期可児市地域福祉計画に「住民が協働しながら、住みよい地域づくりが進められるよう、地域の組織や活動の活性化を促進する」とあるが、今後の展望は。

**A** 全ての市民が地域の中で暮らしやすく、包括的な支援による地域課題解決を図る体制構築を目指す。具体的には地域福祉懇話会に関わり、生活支援の醸成や地域課題の共有等解決に向けた体制を整えていく。

### 自治会や地域を育てる考えは

**Q** 支え合う地域づくりに、地域の課題を一緒に考え進めていく「井戸端会議大作戦」や女性のネットワークは有効と考えるが、市から各地への



たはら りか  
田原 理香

展開は可能か。また市が第一パートナーとしている自治会や地域を育てる意識はあるか。

**A** 有効な手法であるとの認識はあるが、市が主導することはない。公助への要望がある場合、自治会要望を活用していただければ予算の範囲で対応は考えていく。

市の地域に貢献する役割において、連絡所長や地区センター職員が、直接地域に入っていくことはない。経常的な業務をする中で地域を支援することが仕事である。



井戸端会議大作戦の呼びかけチラシ



## 汚染土仮置き提案は どうなったか



伊藤 健二  
いとう けんじ

**Q** JR東海が提案した汚染残土を大森区内に仮置きする計画について、現在の状況は。

**A** JR東海が呼称統一した区分土仮置場用地につき、財産区管理会は土地の貸出しについて現時点では未回答だ。市はJR東海から説明を受け、市の意見をまとめ、財産区管理会に対して技術的助言を提出した。財産区管理会、大森土地改良管理組合の方々が、他の区分土仮置場を視察された。7・8月にJR東海主催で大森地区の自治会、土地改良財産区役員らとの、仮置場計画に関する情報交換会が実施され、9月には住民説明会が行われる予定だ。

### 県の汚染土埋め立て対策は

**Q** 県に埋め立て等の規制条

例があり、環境基準に適合しない土砂の埋め立てを規制している。要対策土が出た場合には誰が公表することになるのか。

**A** 県の埋め立て等の規制に関する条例では、基本的には基準に適合しない土砂の埋め立てはできず、仮置場も同じと思う。公共的団体が生活環境保全上必要な措置を講じていると知事が認めるものは、この限りでない。公表は県の責任で行う。



大森財産区内の公共残土処分場位置図

## 若者の市政参画と協働は



松尾 和樹  
まつ お かず き

**Q** 投票率が低迷している現状を改善するには。

**A** 若年層への啓発は重要であると考えている。教育委員会と連携をして、小・中学生のころから主権者教育を通し、選挙の大切さを地道に啓発することが最も重要である。

### 次世代地域人材育成を 計画的に

**Q** 全国山城サミット及びNHK大河ドラマ「麒麟がくる」を若者の市政への参画と協働につなげるには。

**A** 11月9・10日に文化創造センターアールで開催する全国山城サミットでは、市が進めるKanisuki（かにすき）若者プロジェクトで高校生の参画を計画している。NHK大河ドラマ「麒麟がくる」関

連の事業では、活用実行委員会が今後市民に参画していただけるような場所を準備していく予定である。特に明智光秀博覧会は、子どもたちが楽しめるイベントにしたいと考えている。来年1月から1年間開催するので、このせっかくの機会には是非多くの若者に関わってもらい、自ら企画し様々な課題を克服した上で、楽しい催しを実現していただきたい。関わりの方は活用実行委員会にご連絡いただきたい。



一昨年の山城サミットで活躍する若者達

## 第5回定例会のお知らせ

11月

28日 開会日（議案説明）

12月

3日 一般質問・議案質疑  
4日

6日 予算決算委員会

10日 総務企画委員会

11日 建設市民委員会

12日 教育福祉委員会

20日 閉会日（委員長報告・討論・採決）

会議は午前9時開会の予定です。  
日程は、都合により変更となる場合もあります。

## 地域のかがやき 地域の笑顔

平牧／ジャングルジム流しそうめん



高いところから流れてくるよ

春里／魚のつかみどり大会



地区センターが池に大変身



## チョット おじゃまします

※今回は、朗読サークル「可児の風」さんに、勝野議員と奥村議員がおじゃまして、代表の長尾さんをはじめサークルの皆さんにお話をうかがいました。

広報委員：どのようなきっかけで会が設立されましたか。  
溝口さん：市が開催した、ものがたり「可児の百年」の朗読会で朗読者の募集があり、そこに参加したメンバーで結成されました。

広報委員：構成メンバーは何人ですか。

溝口さん：現在は13名です。内、男性は2名です。

広報委員：指導はどなたに依頼されていますか。

溝口さん：元NHKアナウンサーの高野春廣先生に指導していただいています。

広報委員：主な活動をお聞かせ下さい。

溝口さん：アールで年に1回朗読会を開催していて、今年で15年目です。また可児市戦没者追悼式での平和を祈る朗読をはじめ、依頼があれば小中学校へも出向きます。

広報委員：市民の皆さんへ一言お願いします。

溝口さん：毎月第一金曜日にゆとりピアにて練習を行っていますのでぜひ見に来てください。あわせて、この会をずっと継続させていくためにも新しいメンバーの参加をお待ちしております。

## 取材を終えて

長尾代表をはじめ、皆さんがとても明るく楽しく取材に応じてくださり、親近感の持てるアットホームなサークルでした。新たに会員になっても楽しいひと時を過ごせるのではないかと感じました。

